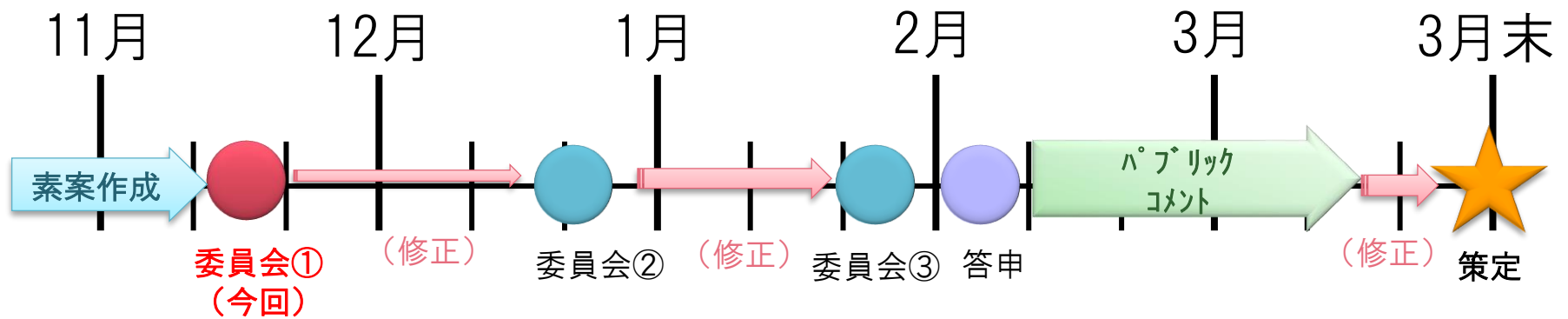


彦根市水道事業ビジョン について

水道事業ビジョン・第3期中期経営計画 策定スケジュール



水道事業ビジョンの概要

第1章 はじめに

1.1 策定の趣旨

厚生労働省が平成16年に「世界のトップランナーとしてチャレンジし続ける水道」を基本理念と定め、「水道ビジョン」を策定



本市水道事業部は、平成16年に「水道事業経営改革プラン」、平成22年に「第2期中期経営計画」を策定



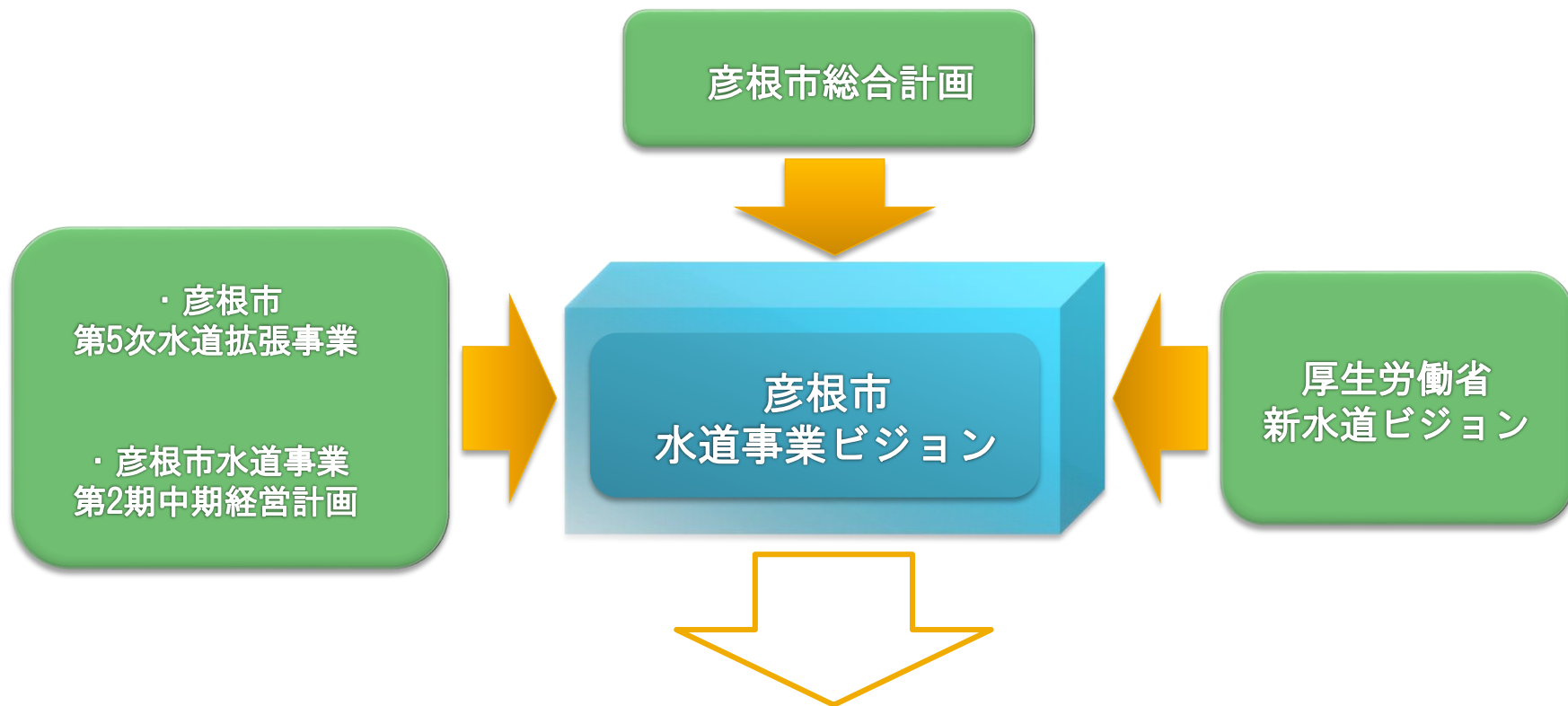
平成23年の東日本大震災により災害対策の強化が求められるなか、厚生労働省が平成25年に「地域とともに、信頼を未来につなぐ日本の水道」を基本理念と定め、「安全」、「強靱」、「持続」の観点から「新水道ビジョン」を策定



「安全」、「強靱」、「持続」の観点を重要視し、長期的な視点を踏まえた『彦根市水道事業ビジョン』を策定

第1章 はじめに

1.2 計画の位置づけ




本ビジョンは彦根市の「総合計画」を上位計画とし、厚生労働省の示す「『水道事業ビジョン』策定の手引き」に基づくとともに、彦根市の「第5次水道拡張事業」、「第2期中期経営計画」を引き継いで策定しています。

事業計画期間は10年後の平成38年度と定め、計画期間内に実施困難となる事業については、長期計画として平成39年度以降に位置づけることとします。

第1章 はじめに

1.2 計画の位置づけ



事業計画期間
H29～H38

長期計画
H39～H78

第2章 彦根市と水道事業の概要

2.1 水道事業の沿革

創設事業

昭和33年12月24日認可
計画給水人口 32,000人
計画1日最大給水量 8,000立方メートル
大藪浄水場緩速ろ過池の築造
天王山配水池(2池)の築造

第1次拡張事業

昭和39年12月22日認可
計画給水人口 65,000人
計画1日最大給水量 22,100立方メートル
天王山配水池(2池)の増築
小泉水源地の設置

第2次拡張事業

昭和47年2月14日認可
計画給水人口 75,000人
計画1日最大給水量 31,500立方メートル
天王山配水池(1池)の増築
東沼波水源地の設置

第3次拡張事業

昭和53年4月18日認可
計画給水人口 102,000人
計画1日最大給水量 68,800立方メートル
天王山配水池(1池)の増築
稲枝上水道を彦根市上水道に統合

第4次拡張事業

平成2年3月30日認可
計画給水人口 108,700人
計画1日最大給水量 68,800立方メートル
水道未普及地域(鳥居本地域)の解消
天王山配水池(1池)の増築
南部配水池(1池)の築造

第5次拡張事業

平成12年2月15日認可
計画給水人口 118,700人
計画1日最大給水量 68,800立方メートル
南部配水池の増築
稲枝配水池の改築
東沼波水源地の改築
東部配水池の築造

第2章 彦根市と水道事業の概要

2.2 水道施設の概要

水源別給水エリア分布図

平成27年4月現在



第3章 彦根市水道事業の現況と課題

1. 安全

- ・ 水源
- ・ 水質
- ・ 貯水槽水道

2. 強靱

- ・ 災害・事故対策

3. 持続

- ・ 水道施設の更新
- ・ 送配水施設
- ・ 水道施設の維持管理
- ・ お客様サービス
- ・ 経営・運営状況
- ・ 環境配慮



【水源】

【課題】

- ◆ 地下水源の保全

【水質】

【課題】

- ◆ 水質管理の強化

【貯水槽水道】

【課題】

- ◆ 貯水槽水道の管理の徹底

第3章 彦根市水道事業の現況と課題

1. 安全

- ・ 水源
- ・ 水質
- ・ 貯水槽水道

2. 強靱

- ・ 災害・事故対策

3. 持続

- ・ 水道施設の更新
- ・ 送配水施設
- ・ 水道施設の維持管理
- ・ お客様サービス
- ・ 経営・運営状況
- ・ 環境配慮



【災害・事故対策】

【課題】

- ◆ 施設・管路の耐震化
- ◆ 浸水対策
- ◆ 水供給のバックアップ
- ◆ 災害復旧体制の強化
- ◆ 災害時情報提供の強化

第3章 彦根市水道事業の現況と課題

1. 安全

- ・ 水源
- ・ 水質
- ・ 貯水槽水道

2. 強靱

- ・ 災害・事故対策

3. 持続

- ・ 水道施設の更新
- ・ 送配水施設
- ・ 水道施設の維持管理
- ・ お客様サービス
- ・ 経営・運営状況
- ・ 環境配慮



【水道施設の更新】

【課題】

- ◆ 施設のダウンサイジング
- ◆ 老朽化施設・管路の計画的更新

【送配水施設】

【課題】

- ◆ 配水圧の適正化
- ◆ 配水方法の見直し

第3章 彦根市水道事業の現況と課題

1. 安全

- ・ 水源
- ・ 水質
- ・ 貯水槽水道

2. 強靱

- ・ 災害・事故対策

3. 持続

- ・ 水道施設の更新
- ・ 送配水施設
- ・ 水道施設の維持管理
- ・ お客様サービス
- ・ 経営・運営状況
- ・ 環境配慮



【水道施設の維持管理】 . . .

【課題】

- ◆ 有収率の向上
- ◆ 監視制御設備の機能向上

【お客様サービス】

【課題】

- ◆ お客様に必要な情報の提供
- ◆ 手続きの利便性向上
- ◆ お客様の意見を取り入れる仕組みの改善

第3章 彦根市水道事業の現況と課題

1. 安全

- ・ 水源
- ・ 水質
- ・ 貯水槽水道

2. 強靱

- ・ 災害・事故対策

3. 持続

- ・ 水道施設の更新
- ・ 送配水施設
- ・ 水道施設の維持管理
- ・ お客様サービス
- ・ 経営・運営状況
- ・ 環境配慮



【経営・運営状況】

【課題】

- ◆ 業務遂行体制の強化
- ◆ 施設整備に係る資金の確保
- ◆ 技術力の向上と継承

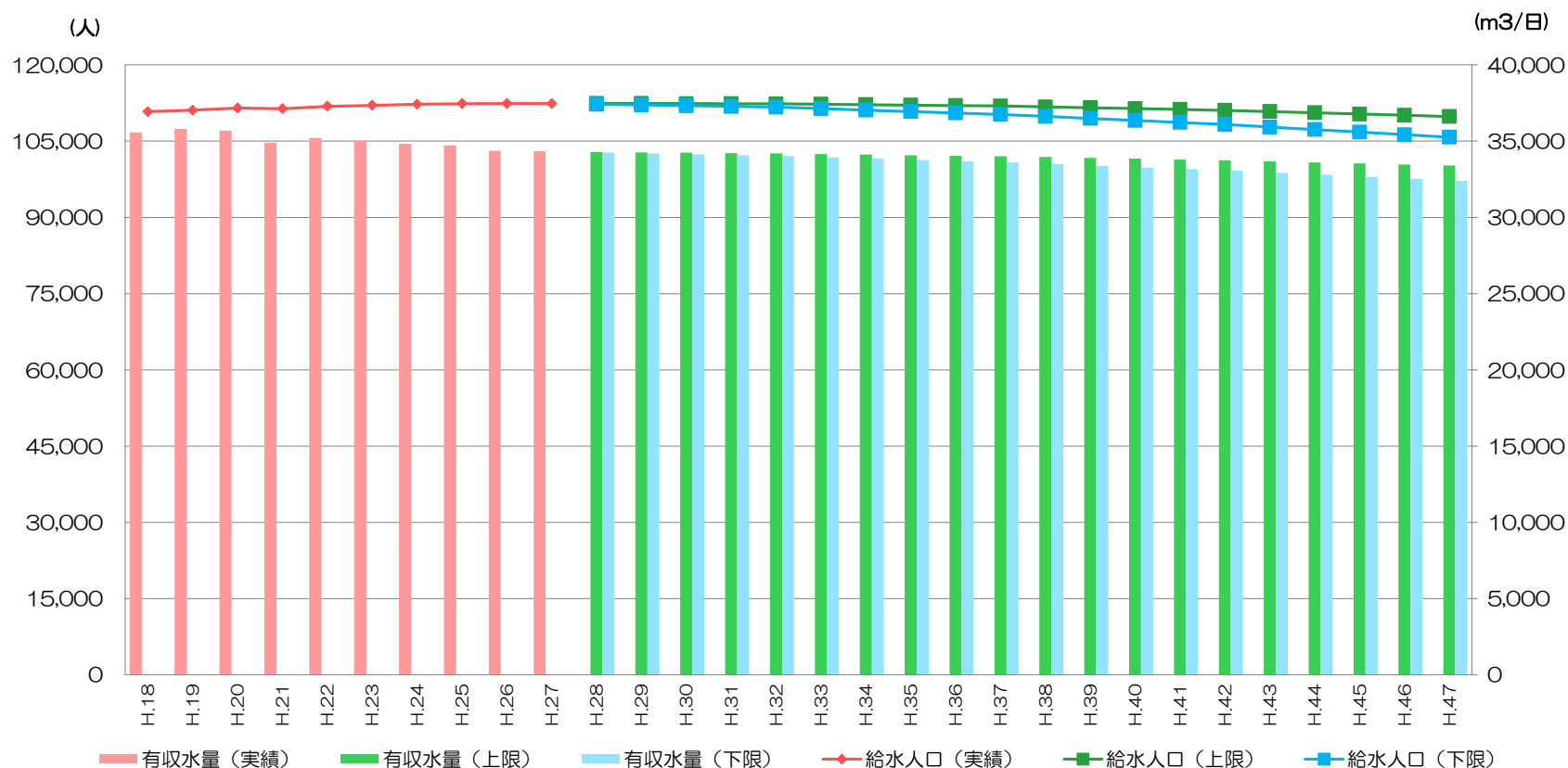
【環境配慮】

【課題】

- ◆ CO₂の削減

第4章 将来の事業環境

4.1.1 給水人口と給水量



上限値・彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略人口ビジョン 目標人口
時系列傾向分析による推計 生活用1人当たり上限値(逆ロジスティック曲線)

下限値・国立社会保障・人口問題研究所
時系列傾向分析による推計 生活用1人当たり下限値(年平均増減率)

第4章 将来の事業環境

4.1 外部環境の変化

1.1 給水人口と給水量

将来の給水人口と給水量の推計より給水人口は徐々に減少し、それに伴い有収水量も減少する見込み

1.2 水道施設の効率性低下

ダウンサイジングや施設の統廃合などの施設整備の計画が必要

1.3 水源の汚染など

強風等の荒天時や田植え時期等には濁度が大きく上昇するため、適切な対策の実施が必要

4.2 内部環境の変化

2.1 水道施設の老朽化

応急復旧が困難な箇所から計画的に老朽化対策に取り組み、中長期的に多量の施設・管路の更新が必要

2.2 資金の確保

今後アセットマネジメントに基づく計画的な更新事業の進行、及び適正な資金の確保が必要

2.3 技術の継承

ベテラン職員の退職や人事異動により、技術力の低下が懸念されることから技術や知識を確実に継承していく取り組みが必要

基本理念

きれいでおいしい水を届け
暮らしを守る 彦根の水道

第5章 基本理念及び将来像

5.2 基本方針および施策目標

① 【安全】

安全でおいしい水の供給

- ・ 水源の維持
- ・ 水質管理の徹底
- ・ 給水水質の向上

② 【強靱】

災害に強い水道の構築

- ・ 水道施設の耐震化
- ・ 浸水対策
- ・ 水供給のバックアップ
- ・ 危機管理体制の強化

③ 【持続】

持続可能な水道経営

- ・ 施設の計画的な更新
- ・ 効率的な水道システムの構築
- ・ 適切な維持管理
- ・ お客様の対応の改善
- ・ 健全な経営の維持
- ・ 職員の技術力向上
- ・ 環境への配慮

第6章 実現方策（安全）

基本方針 1 安全でおいしい水の供給

施策
目標 1 水源の維持

施策 1 - 1 地下水源の点検・整備

施策
目標 2 水質管理の徹底

施策 2 - 1 水安全計画の定期的な見直し

施策 2 - 2 水質監視体制の強化

施策
目標 3 給水水質の向上

施策 3 - 1 受水槽所有者への維持管理の周知

第6章 実現方策（強靱）

基本方針 2 災害に強い水道の構築

施策
目標 4

水道施設の耐震化

施策 4 - 1 耐震化計画の策定

施策 4 - 2 構造物・設備の耐震化

施策 4 - 3 管路の耐震化

施策
目標 5

浸水対策

施策 5 - 1 地下設備の地上化等

第6章 実現方策（強靱）

基本方針2 災害に強い水道の構築

施策
目標6

水供給のバックアップ

施策6-1 バックアップルート
の整備

施策6-2 近隣事業体との水融通

施策
目標7

危機管理体制の強化

施策7-1 災害対策マニュアルの
定期的な見直し

施策7-2 災害用資機材の
整備強化

施策7-3 防災訓練の強化

施策7-4 災害時情報提供内容の
見直し

第6章 実現方策（持続）

基本方針 3 持続可能な水道経営

施策
目標 8 施設の計画的な更新

施策 8-1 施設整備計画の見直し

施策 8-2 アセットマネジメントによる計画的な更新

施策
目標 9 効率的な水道システムの構築

施策 9-1 配水区域の見直し
(配水ブロック化の検討)

施策 9-2 管路以外の配水方法の検討

施策
目標 10 適切な維持管理

施策 10-1 漏水防止対策の強化

施策 10-2 セキュリティシステムの強化

第6章 実現方策（持続）

基本方針 3 持続可能な水道経営

**施策
目標11** お客様対応の改善

施策11-1 アンケート実施による
情報提供内容の充実

施策11-2 新たな手続き方法等の
検討

施策11-3 ホームページでの
意見募集と対応の公表

**施策
目標12** 健全な経営の維持

施策12-1 業務委託の拡充

施策12-2 組織体制の見直し

施策12-3 施設更新費用の確保

第6章 実現方策（持続）

基本方針 3 持続可能な水道経営

施策
目標13

職員の技術力向上

施策13-1 OJTおよび内部研修の
充実

施策13-2 外部研修の促進

施策
目標14

環境への配慮

施策14-1 電力使用量の削減

第7章 フォローアップ

- 本ビジョンに示される実現方策を着実に実施するためには、実現方策の進捗管理とそれに伴う改善が必要になります。
- このため、下記に示すPDCAサイクルに基づき、実施・検証・見直し・計画を行います。

PDCAサイクルのイメージ

